



クリーンF初勝利

関東社会人ラグビー

ラグビーの関東社会人リーグ1部で山梨県勢のクリーンファイターズ(クリーンF)は23日、山梨市のTOSENGグラウンドで東京消防庁と対戦、34-7で快

勝した。今季初勝利で開幕からの連敗を7で止めた。クリーンFは前半7分にFB清水大輝のPGで先制。8分にトライを奪われ、3-7と逆転を許したが、33分にロック藤江一善が逆転トライ(ゴール)。ロスタイムにもSH向山伸一がトライを決め、17-7で折り返した。

後半は押し気味に試合を進め、5分にSH向山がトライ(ゴール)。24分にFB清水がPG、ロスタイムにフランカー竹中裕がトライ(ゴール)を追加し、大差をつけた。

クリーン	34	17	7	東京消防
トライ	3	1	0	7
PG	1	0	0	0
FT	2	1	1	7
合計	34	17	7	

1部残留に望み

○：クリーンファイターズは1部では1998年以来、10年ぶりの白星。日原達仁監督はこの試合が1部残留には一番大事と分かっていた。チーム一丸になれたのが勝因」と声を弾ませた。

同じ7戦全敗の東京消防庁との負けられない一戦だった。ハイパント攻撃を徹底し、バックス陣の闘志を前面に出した突進でペースをつかんだ。前半の15分すぎから約10分は自陣で防戦の時間があつたが、粘り強い守備で無得点で乗り切るなど執念で白星をもぎ取った。

残り3試合。1部残留の望みもつながら、坂本大輔主将は「勝ちたい気持ちを一つにして、集中力で相手を上回った。プレーの精度を高めて、残りを全勝したい」と意気込んでいた。

【関東社会人ラグビー部クリーンFー東京消防庁】後半5分、クリーンFのSH向山伸一がトライ。山梨市・TOSENGグラウンド